

厚生労働科学研究費補助金（医療技術実用化総合研究事業）
分担研究報告書

「リンク先選定のための評価方法に関する研究」

研究協力者 星 佳芳 北里大学医学部 衛生学

研究協力者 丁 元鎮 大阪府立成人病センター 薬剤部

研究要旨

臨床研究登録情報の検索ポータルサイト^{1,2)}において、リンク集等を用いて新たなインターネット上の医療情報サイト等へリンクをはる場合に、そのリンク先を選定する必要がある。この研究では、サイトの信頼性を検討する目的で、HONcode、および日本インターネット医療協議会の審査・認証を受けたサイトであるか否かを調査した。調査対象は、有田班分担研究者・研究協力者から寄せられたリンク先候補と既存の臨床試験（治験）情報サイトのリンク集に掲載されている組織やWebコンテンツの延べ327サイトとした。HONcodeと日本インターネット医療協議会による審査・認定について、それぞれ、19のサイト（5.8%）、6のサイト（1.8%）が認証を受けており、リンク先候補としてあげられていても、必ずしも多くのサイトが認証を受けているわけではないことが明らかとなった。また、今回、当研究班にて開発途上であるポータルサイトについて、HONcodeの基準を参照し評価したところ、課題が明確となり、鋭意修正を行っているところである。

臨床研究登録情報の検索ポータルサイト^{1,2)}において、リンク集等を用いて新たなインターネット上の医療情報サイト等へリンクをはる場合に、そのリンク先を選定する必要があり、また、選定するための評価方法についての検討が必要である。

インターネット上の医療情報の評価については、HONcode³⁾が知られており、既にEU、WHOにおいても保健医療情報の評価に用いられてきた⁴⁾。認証の際の項目には、

1. Authoritative
2. Complementarity
3. Privacy

4. Attribution
5. Justifiability
6. Transparency
7. Financial disclosure
8. Advertising policy

の8つがあげられ、日本語訳(資料1-1,1-2:
<http://www.hon.ch/HONcode/Patients/Japanese/>)もあり、日本の医療消費者にとっても利用しやすいものとなっている。

National Library of Medicine's Medline Plus の評価についても詳細が

<http://www.hon.ch/HONcode/Conduct.html?HONConduct166259> において公開さ

れ、

<http://www.nlm.nih.gov/medlineplus/recognition.html> にて HONcode ロゴの表示が見られる。The Cochrane Collaboration

<http://www.cochrane.org/> においても、そのサイトが評価を受け、ホームページ上に HONcode シールの表示も行っているところである。

本邦でも、HONcode と同様の取り組みがあり、日本インターネット医療協議会 (JIMA) <http://jima-j.org/http://jima-j.org> にてインターネット上のサイトの信頼性の確保に関して審査・認定が行われ、その結果が公開されている。また、その倫理コードは公式に英語訳

[http://www.jima.or.jp/ehealth_code/JIM AeHealth_code20\(English\).pdf](http://www.jima.or.jp/ehealth_code/JIM AeHealth_code20(English).pdf)

が公開されているので、英語圏の医療消費者からも利用しやすい。

このような、取り組みをふまえ、ポータルサイトから国内外のサイトへリンクをはる場合は、そのサイトの信頼性についての検討が可能である。

また、当研究班で開発されるポータルサイトのプロトタイプが、外部の機関のリンク先として候補サイトとなることで、サイトの閲覧者を増やすことが可能である。相互リンクの数は、多くの検索エンジンにおいて、より優先度の高いヒットサイトとなるための要件のひとつでもある。また、サイトの閲覧者に信頼されるサイトの構築が望まれる。そのためには、当研究班で開発されるポータルサイトのプロトタイプが信頼性の高いサイトとして構築されているかを検討する必要がある。

A．研究目的

< 研究 1 >

この研究の目的は、有田班分担研究者・研究協力者から寄せられたリンク先候補や、国内の臨床試験登録関連施設のホームページ上のリンク集の中で、信頼性のあるサイトをリンク先として抽出できているかを確認するための試みとして、サイトが外部の審査機関の審査・認定を受けたサイトであるか否かを調査することを目的とした。

< 研究 2 >

現在、開発途上にあるこのポータルサイトのプロトタイプが、信頼性のあるサイトとして構築されているか検討する目的で HONcode の 8 つの認証の基準に照らして評価することを目的とした。

B．研究方法

< 研究 1 >

日本の臨床試験登録関連施設のホームページ上のリンク集(表 1)に掲載されているサイト、および、有田班分担研究者・研究協力者(有田、井上、氏原、丁、堂園、星、眞島、山口)から 2013 年 11 月~2014 年 1 月に研究班メーリングリスト内で寄せられたリンク先候補(表 2: 延べ 327 サイト)の中で、(1)HONcode、および(2)日本インターネット医療協議会による審査・認定を受けたサイトであるか否かを調査した。但し、調査対象とするサイトから個別の製薬企業と個別の学術雑誌サイトは除外した。

(1) HONcode の認証を受けていることの確認は、PC 上に HONcode のサイトより HONcode toolbar

<http://www.hon.ch/HONcode/Patients/Visitor/visitor.html> をインストール

した上で当該 Web ページを閲覧し
“Accredited”と表示されたことを確認
した。Internet Explorer の場合を資料
2-1 に示し、Firefox の場合を資料 2-2
に示した。更に、Web ブラウザにより
表示が不安定な場合は、サイト上の
HONcode シール(資料 3-1)をクリックし、
認証の状況を確認した(資料 3-2)。
また、認証を受けていないという場合は、
“Accredited”の表示が灰色で赤色の斜
線が入っていることを確認した。

Internet Explorer の場合を資料 4-1 に、
Firefox の場合を資料 4-2 に示した。

- (2) 日本インターネット医療協会による
審査・認定については、準拠する e ヘル
ス倫理コード基準(Ver2.0/2007年7月
1日改訂)

[http://www.jima.or.jp/ehealth_code/
ehealth_code20.pdf](http://www.jima.or.jp/ehealth_code/ehealth_code20.pdf) の範囲により、下
記の 2 種による審査・認定を受けたサ
イトであるか否かを、それぞれ、以下の
URL の情報より確認した(最終
accessed2014.02.13)。

- ・ ミニマムスタンダード(最少限基準) =
レギュラーサイト:

[http://www.jima.or.jp/trustmark/sit
elist_regular.html](http://www.jima.or.jp/trustmark/sit
elist_regular.html)

- ・ フルスタンダード(全項目基準) = ゴ
ールドサイト:

[http://www.jima.or.jp/trustmark/sit
elist_gold.html](http://www.jima.or.jp/trustmark/sit
elist_gold.html)

以上のようなサイトの確認の際に、日
本語と英語での両者の提供サイトがあ
ることが確認できた場合は、両方のサイ
トの URL を記録し、それぞれについて
認証の状況を調査した。

< 研究 2 >

今回、当研究班によりプロトタイプとし
て開発されたポータルサイトを HONcode
の 8 つの認証の基準に照らして吟味する。
適格だと思われたサイト上の記述や問題だ
と思われたところをキャプチャ画面等に保
存して示す。また、改善が必要であると思
われる部分については、「改善提案」として
記録する。

C . 研究結果

< 研究 1 >

表 2 の中に、認証を受けている場合は“○”
を、認証を受けていない場合は“×”を記した。
HONcode については、19/327 のサイト
(5.8%) について認証を受けていることが
確認できた。日本インターネット医療協
会による審査・認定については、6/327 の
サイト(1.8%) が認証を受けていた。

< 研究 2 >

HONcode の 8 つの認証の基準に照らして
吟味した「結果」と「改善提案」について、
資料 5-1a から資料 5-6 に示した(最終
accessed2014.02.13)。

D . 考察

ポータルサイトのリンク集を作成する上
で、インターネット上の情報を示す場合は、
そのサイトの評価を適切に行う必要がある。
評価に関する指標については、例えば治療
情報の選択に関して指針を示した“The
DISCERN instrument”^{5,6)}が存在する。こ
の評価インストゥルメントは The British
Library や英国 NHS の資金援助のもと作成
され、患者家族等の医療消費者が治療を選
択する際のガイドとなる。個別の治療の選

択においては、サイトの高い信頼性だけでなく、患者の好みや周囲の医療資源などにも満足度が左右されると予想される。

リンク集の中から外部のサイトへ遷移した場合も、外部のサイトを閲覧するよう誘導したとみなされ、外部のサイトの情報の質も、担保されるべきであるが、HONcodeにおいても、“The DISCERN instrument”においても、必ずしも表示された情報の中身に対する閲覧者の満足度を保証するものではない。閲覧者は、その情報を閲覧する目的が様々であり、「リンク集」はパスファインダーとしての機能を提供するのみである。

この研究において、有田班分担研究者・研究協力者が、有益なリンク先の候補としてあげたサイトの多くが、必ずしも外部の認証評価を受けていないことが明らかとなった。

また、今回の調査の過程で、日本の臨床試験登録関連施設のホームページ上のリンク集（表1）からの“リンク切れ”や施設・団体の名称変更等も散見された。このことから、ポータルサイトが「医薬品や医療機器の治験（臨床研究）」に関連するサイトとして「リンク集」の中で提供する情報の質を担保するには、そのサイトの作られ方を吟味できる認証評価基準の内容を参考にしながら、サイト運営開始と同時に、吟味を継続する必要があると思われる。

更に、＜研究2＞において、当研究班によりプロトタイプとして開発されたポータルサイトの課題が明確になったことで、今後の改善点が抽出された。

E . 結論

ポータルサイトのリンク集を作成する上で、インターネット上の情報を示す場合は、そのサイトの選定において、認証システムの評価結果は、サイトのユーザーやポータルサイトの運営者にとって、一助となるが、その分野の専門家が有益と考え、お勧めできると感じているサイトの多くが認証を受けているわけではないことも明らかとなった。

また、このポータルサイトのプロトタイプ構築の最終段階にある現在、明確となった課題の修正を鋭意行う必要がある。

<参考文献>

- 1) 丹後俊郎. 臨床研究登録情報の検索ポータルサイトの開発に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金 行政政策研究分野 厚生労働科学特別研究. 平成18年度 総括・分担研究報告書. 平成19年3月.
- 2) 丹後俊郎. 臨床研究登録制度の今後のあり方に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金 厚生労働科学特別研究. 平成17年度 総括・分担研究報告書. 平成18年3月.
- 3) HONcode:Health On the Net Foundation[internet]
<http://www.hon.ch/HONcode/Conduct.html> (accessed 2014.02.13)
- 4) Case study 1. Foundation in Switzerland helps citizens determine trustworthiness of online health information WHO, Safety and security on the Internet : challenges and advances in Member States : based on the findings of the second global survey on eHealth. (Global Observatory for eHealth Series, v. 4), 2011, [internet]
http://www.who.int/goe/publications/goe_security_web.pdf
(accessed 2014.02.13) p. 18
- 5) Discern[internet]
<http://www.discern.org.uk/> (accessed

- 2014.02.13)
- 6) Deborah Charnock. The DISCERN Handbook-Quality criteria for consumer health information on treatment choices. Radcliffe Medical Press. 1988 [internet]
<http://www.discern.org.uk/discern.pdf> (accessed 2014.02.13)

F . 健康危険情報
特になし

G . 研究発表

1. 論文発表
星 佳芳. 著作権 図書館員に期待されること、できること・利用者・情

報発信者の立場から-.薬学図書館58/3, 223-226. 2013.

星 佳芳, 有田悦子, 氏原淳, 坂本泰理海外の臨床研究・治験関連サイトおよび関連機関に関する研究. 平成24年度 厚生労働科学研究費補助金(医療技術実用化総合研究事業)分担研究報告書(H24-臨研基-一般-003)(研究代表者:有田悦子) p142-177. 2013

2. 学会発表 なし

H . 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし